

令和8年度 久慈拓陽支援学校教職員 働き方改革アクションプラン

～ 明るく 強く 生き生きと ～

久慈拓陽支援学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現状

【定量的現状】

- ・R7時間外在校等時間が月45時間以上の教職員数、年間延べ人数12人(R4:98人、R5:65人、R6:47人)
- ・R7平均時間外在校等時間16時間(R4:23h、R5:21h、R6:19h)

【定性的現状】

- 教職員の意識
 - ・週4日(月～木)の完全退庁時刻(18:45)、週1日(金)の完全退庁時刻(18:00)が全職員に意識付けされている。
 - ・個々にタイムマネジメントをしながら業務を行う意識が向上している。
- 管理職のマネジメント
 - ・会議の精選や連絡報告方法の簡略化など、効率化を図っている。

2 目標・目指す姿

県の働き方改革プランの目標を前提に、以下の目標を設定します。

【学校独自の目標】

- 教職員全員で「明るく 強く 生き生きと」働きます。
- 時間外在校等時間45時間以上の年間延べ人数を10人以下、教職員一人当たりの平均時間外在校等時間15時間以下を目指します。

【目指す姿】

- ・ 職員一人一人がやりがいを感じ、児童生徒に向き合っている。
- ・ 教職員が互いに情報共有し、支え合って業務を推進している。
- ・ 教職員が仕事とプライベート(家庭のための時間、自分自身の自由な時間)を大切にして、タイムマネジメントしている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

(1)	教職員の健康管理	<ul style="list-style-type: none">・ 休暇を取りやすい職場となるよう、特割の適正実施と有給休暇等の積極的な取得を促します。・ 月の時間外在校等時間が月途中で20時間超となった教職員に声掛けし、健康確保の観点から面談を実施します。
(2)	学校における業務改善の推進	<ul style="list-style-type: none">・ 学校行事は終了後の反省と同時に次年度の骨子案を作成して確実に引き継ぎます。・ 保護者宛文書の一部をペーパーレス化して、一斉メールの添付文書を活用します。
(3)	業務の明確化・適正化の推進	<ul style="list-style-type: none">・ 学校行事等の教育活動において、登録サポーターの活用を積極的に進めます。・ 児童生徒の自立と社会参加に向けて地域企業の協力を得ながらキャリア教育を充実させます。
	令和8年度重点取組事項	<ul style="list-style-type: none">・ 教職員間の円滑なコミュニケーションを促進し、活気ある職場環境をつくります。・ R7から取り組んでいる「週4日(月～木)の完全退庁時刻18:30(－15プロジェクト)」に引き続き取り組むとともに、「週1日(金)の完全退庁時刻18:00」を継続します。

4 アクションプランの周知方法

- ・ 職員会議を通じて教職員にプランの内容を周知、説明するとともに、学校運営協議会でプランの内容を説明します。
- ・ 学校ホームページへの掲載や学校通信等を通じて、地域・保護者に対してプランの内容を公開します。